

太陽インダストリー株式会社

異分野の保有ノウハウの相互共有による 中小企業ならではの棲み分け事業の実施

南九州で飲料や酒造向け包装材の販売網に定評のある串間紙器工業株式会社（鹿児島県曾於市、以下「串間紙器工業」と）と設計ノウハウ及び設計データの共有連携を行い、新たな分野の受注獲得を図ります。



導入したパレタイズロボット

ボトルネック解消と生産性向上が課題

製造ラインの最終工程（搬送→パレタイズ→移送→ストレッチ包装）にボトルネックが発生しており、その解消による生産性向上が課題でした。また、手作業の負荷が大きく離職率が高かった事も悩みでした。過去に設備導入を検討していましたが見送っていたため、今回の補助金を契機にパレタイズロボットを導入する事としました。また串間紙器工業との連携により飲料メーカー向けの設計ノウハウの共有を図りました。

機械化した現場で導入する人材育成の仕組み

パレタイズロボットによる完全自動化により、単純な手作業で行っていた作業を全て無人化しました。生産性向上はもちろんのこと、高齢化が進んだ現場作業員への負荷が軽減しました。なお、機械導入時には、「機械の専門家」が必要との考えのもと、担当者には



常務取締役事業部長の宮崎さん

専門知識の教育強化を行い、それに見合う「オペレーター手当」の増額支給をしています。今後は設備投資によるハード面の強化に加え、間接部門の合理化などソフト面も強化する予定です。また、今回の串間紙器工業との連携のように、同業者、異業種及び行政などと様々な分野で連携することで、自社の強みを活かし、新分野への開拓に力強く邁進していきます。

補助事業は設備投資の判断速度を上げる契機

積極的に設備投資を行いたくても、タイミングを迷う時があります。その際、補助金のお陰で先行投資への意欲がわきました。また、申請時に行う事業計画の作成が刺激となり、「更に頑張ろう」という前向きな気持ちになりました。補助事業に慣れていないと、書類の作成など最初はなかなか難しいと感じますが、うまく活用し積極的な設備投資を行うことは、現場の士気向上にも繋がると思います。



段ボールの製造ライン

様々な要望に応えオリジナルの段ボールなどを設計

北九州市小倉南区に本社をおき、計7つの工場・事業所で事業を展開しています。段ボール事業では、様々な顧客からの要望に応える為、品質・コスト・納期・環境を基本とした、顧客の条件に沿った最適包装を設計し、提供し

ています。段ボール以外にも、人工大理石製品や強化プラスチック



段ボール運搬の様子

製品など様々な製品を作っており、幅広い業種の顧客の要望を叶えています。

企業概要

太陽インダストリー株式会社



戸畑工場

代表者 代表取締役 水口 真

所在地 (戸畑工場)
〒804-0071
北九州市戸畑区川代
2-3-7

TEL 093-884-2135

FAX 093-884-2130

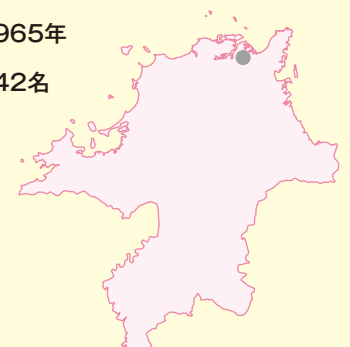
URL <https://www.taiyo-industry.co.jp/>

業種 段ボールケース等の製造・販売

資本金 3億円

創業 1965年

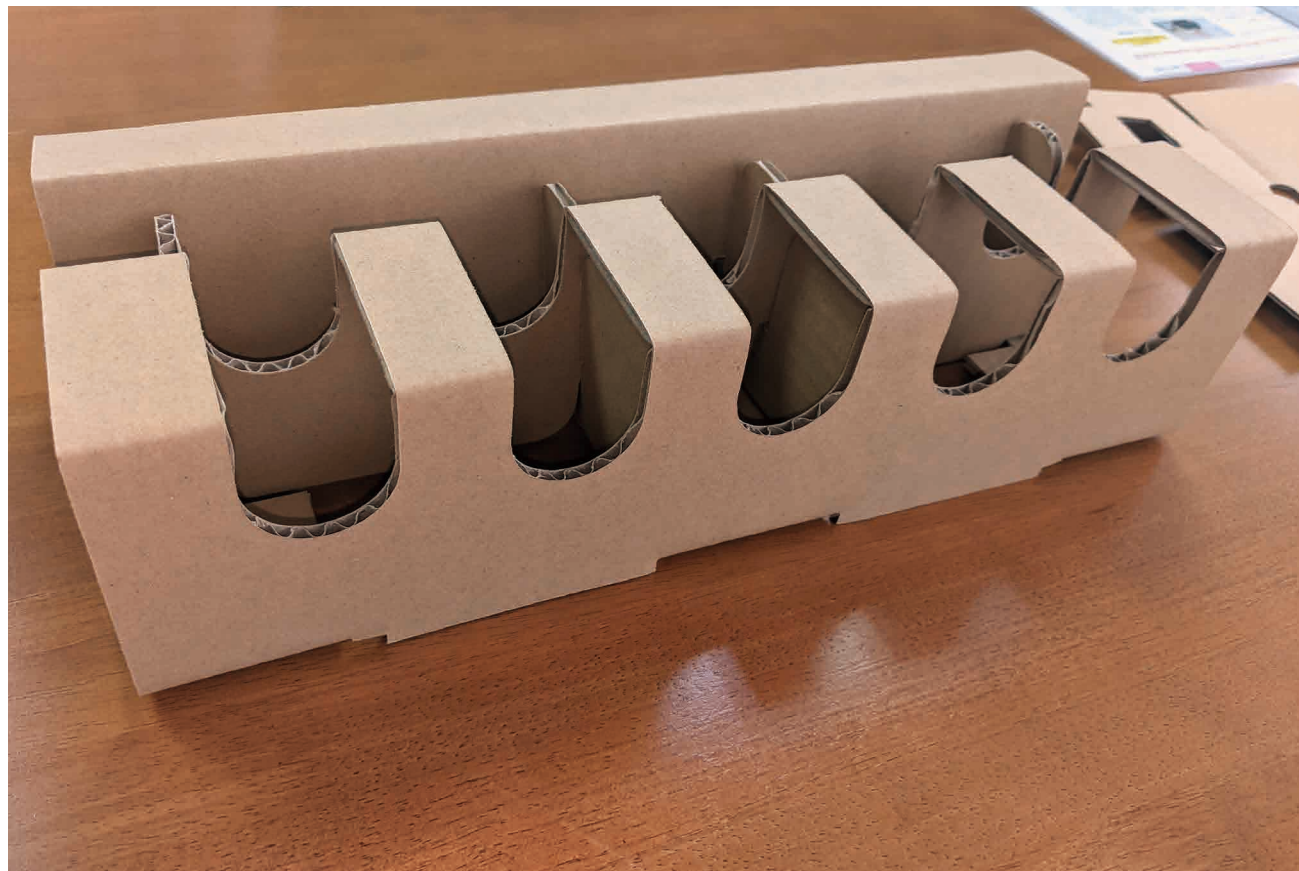
従業員数 442名



串間紙器工業株式会社

異分野の保有ノウハウの相互共有による
中小企業ならではの棲み分け事業の実施

精密機器関連の梱包設計で全国的に定評のある太陽インダストリー株式会社（北九州市小倉南区、以下「太陽インダストリー」）と梱包設計ノウハウ及び設計データの共有連携を行い、新たな分野の受注拡大を目指します。



加工した段ボール

内製化を実現した自動高速
レシプロカッター

新たな分野で顧客に提案を行う際は、試作が欠かせません。従来、試作品を顧客に提供する時は、カッティングを外注していましたが、試作期間に10日間程度を要していました。顧客への提案力を向上する為に、自動高速レシプロカッターの導入を模索していたところ、連携先の太陽インダストリーから機械導入のアドバイスと精密機器分野の設計データ共有のご提案を頂きました。



導入した自動高速レシプロカッター



専務の串間さん

機械導入により提案速度と
顧客満足度が向上

今回、自動高速レシプロカッターと専用CADを導入し、カッティングを内製化したことで、試作期間を短縮出来ました。設備導入コストに見合った売上向上が可能か、不安な面もありましたが、提案速度が上がる事で顧客満足度は高まりました。「串間さんには是非やってほしい」とのお声も頂き、売上が向上した取引先もありました。また、太陽インダストリーと設計データを共有したことで、設計面でも生産性が向上しました。コロナ禍で、まだまだ新規事業開

拓は厳しい状況ですが、自社の新たな柱として営業活動に励んでいます。

設備導入が競合他社との差別化要因に

工場への設備導入は自社の強みとなり、競合他社との差別化要因となります。補助金制度は「難しそう。手続きが大変そうだなあ」と申請をためらっていましたが、一度やってみることで壁を乗り越えることが出来ました。機械導入は時間とコストの両面を改善し、大きな生産性向上に繋がるので、今後も積極的に補助事業を活用していきたいと考えています。

地元企業の商品を守る老舗
ボックスメーカー

当社は創業99年の老舗ボックスメーカーで（ボックスメーカーとは、段ボールシートを仕入れ、顧客の需要と製品特性に合わせ、段ボールを設計・加工するメーカー）、主に飲料・酒造・食品製造業者向けの段ボール加工を得意

としています。自動化、ロボット化や国内最高速度の印刷能力を保有する機械導入など、生産性向上に取り組んでいます。



製造部の鹿倉さん

企業概要

串間紙器工業株式会社



代表者 代表取締役 串間 保寛
所在地 〒899-4103
鹿児島県曾於市財部町下財部1596-1
TEL 0986-72-3800
FAX 0986-72-3813
E-mail ykushima@mnet.ne.jp
URL http://kushima-shiki.com/

業種 段ボールケース製造
資本金 1000万円
創業 1921年
従業員数 35名

